

お台場 自由の女神

東京・お台場の「お台場海浜公園」にある自由の女神像。
ローマ神話の自由の女神リベルタスをかたどった立像。
お台場の有名観光スポットの1つですが、なぜここに自由の女神像があるのか不思議ですよ。

自由の女神像は世界に3ヶ所あります。本家のニューヨークのほか、パリ、東京です。それぞれがれっきとした正式のものとして認められています。つまり、お台場の自由の女神もただのレプリカではなく、フランス政府公認の自由の女神なのです。



「1998－1999 日本におけるフランス年」を記念し、パリ市セーヌ川の中洲シーニュ(白鳥)島にある「自由の女神像」が、1998年4月から1999年5月まで貸し出され、お台場海浜公園に設置されました。

これが非常に好評で、「臨海副都心まちづくり協議会」が女神像の返却後も何とかレプリカを設置したいと、パリ市に申請、フランスに帰った女神像から直接型取りして制作されたものです。

オリジナル像と同じブロンズ鑄造製の完全復刻像(高さ約11.5m 重量約9t)とのこと。本物が乗っていた同じ台座に据えられ2000年12月22日除幕されました。



フランスのパリにある自由の女神像



ニューヨークにある自由の女神像

ニューヨークにある自由の女神像は、アメリカ合衆国の独立(1776年)100周年を記念してフランスより贈呈され、1886年に完成した。アメリカ合衆国の自由と民主主義の象徴である。また、ニューヨーク港からアメリカ合衆国に入国しようと大西洋を船で渡ってきた移民にとって、灯台でもあった自由の女神像は、船上から目にする新天地の象徴となっていた。

フランスのパリにある自由の女神像は、フランスがアメリカに自由の女神像を送ったことの返礼として、パリに住むアメリカ人たちがフランス革命(1789年)100周年を記念して贈ったものである。セーヌ川のグルネル橋のたもとに位置し、高さは11.5メートル、重さは14トンと、ニューヨークにあるものよりずっと小さい。1889年11月5日に除幕式が行われた。同じくバルトルディの設計によるもので、除幕も彼の手によって行われた。左腕に抱える銘板には、フランス革命のきっかけとなったバスティーユ牢獄襲撃が起こった1789年7月14日の日付が刻まれている。